令和のねずみ年雑感

旭川市医師会
JA北海道厚生連　旭川厚生病院　赤　羽　弘　充

今年は『子(ねずみ)年』である。ねずみ年生まれの男を年男といい、年男なので、寄稿を依頼された。子は「こ」「し」「ね」と読み、ねずみの「ね（子)」の字を当てたということである。嵯峨天皇が「子子子子子子子子子子子」（子を12回）と書いて、何と読むか問うたという逸話がありますが、ご存知でしょうか。

ねずみ年生まれだというと、「だからちょろちょろしてるんだね」と言われたことがあるが、そんなこと言ったらその学年の75％の児童生徒はちょろちょろして授業にも何にもなったものではない。生まれ年が性格やその活動性にまで影響を及ぼしたらたまったものではない。

同じような性格にまつわるものに血液型がある。大学の同級生に自分の血液型をずっとＢ型だと思って生きてきたのに、ある時Ｏ型であることが判明した途端、血液型占いはあてにならないことが分かったと言っていた友人がいる。人間は思い込みで都合の良いように性格を当てはめてみたりするので、生まれ年や血液型で一括りにされる程度の多様性では説明できないのである。最近では病院で生まれる新生児の血液型を調べない（教えない）と聞いた。上のような不幸な子供が育たないようにという配慮かと思ったら、血液型抗原は安定するのが１歳以降であるらしく、新生児の多くがＯ型を呈するのだそうだ。そういえば、白血病の患者さんの血液型が変化するという講義を大学で聴いた気がすることを思い出した。Ｏ型の人の血清中にどうしてＡやＢに対する抗体があるのかも謎だと講義された。

しかし、日本人は占いや迷信が大好きである。日本には言い伝えという素晴らしい迷信が残されており、丙午（ひのえうま）の昭和41年は人口ピラミッドで顕著な窪みを呈している。『丙午の嫁は気性が荒く、夫を食い殺す』という江戸時代の言い伝えに基づき60年ごとに訪れる丙午の年には出生数が減少するのだそうだ。そんな言い伝えの中生まれた当の子女は、熾烈な大学受験競争のさなか、如何ほどの恩恵に与ったことであろう。そして、丙午生まれの女性のその後の運命に結婚できないなどという不幸はどの程度の確率で訪れたであろう。この件に関して研究した人がいたら、教えていただきたいが、そんな迷信に振り回された時代があったと思うと、不思議の国日本も捨てたものではないと思ってしまう。

次の丙午は６年後（2026年）である。それでなくても少子化の時代、こんな理由で出生数が減っては大変だと思っているが、案外丙午には出産を控えたいという女性は多いようである。かわいい我が子の疫災を少なからず減らしたいという親心である。ハロウィンやクリスマスで盛り上がって、大晦日に除夜の鐘を聞いて神社に初詣する日本人が多いのだから、2026年はさぞかし議論になることだろう。

因みにねずみ（子）とうま（午）と言うと、子午線という言葉があるが、子は北、午は南を指すので、子午線は南北の線という意味だそうである。（「子子子子子子子子子子子」は「猫の子子猫獅子の子子獅子(ねこのここねこししのここじし)」と読みます）

令和に元号が変わり、御代替わりで新しい天皇陛下が即位されたが、天皇陛下の誕生日は昭和35年２月23日生まれであり、子年のお生まれである。同じ年に生まれたというだけで、鼻が高くなる。つまり、天皇陛下は今年還暦である。

少子高齢化で労働人口の減少、税収減少、年金支給開始年齢の先送りなど、全速力で走り続けてきた（つもりの）団塊の世代とそのしわ寄せで割りを食う（かもしれない）我々以下の世代、令和の日本に明るい未来は訪れるのであろうか？ドタバタの末に北海道開催となった『東京』オリンピックのマラソンは札幌で決着がついているのだろうか？市民感覚とかけ離れた道議会の喫煙所問題はどうなっているだろう。どっちにしても私たちの税金である。

大震災や洪水被害など「数十年から数百年に一度」と言われる大きな自然災害が、毎年日本のどこかで大きな被害をもたらしているが、令和の時代も今まで以上に日本を襲い、気候変動とともに陸の要塞旭川にも発災することがないか心配な時代である。国外逃亡するとしたら、どこがいいのか夢想する毎日である。

本会では、例年新年号に「新春随想」を企画し、年男・年女に当たられます会員諸氏より無作為に選定させていただき、執筆をご依頼申し上げております。

時節がら、ご多忙にもかかわらず、ご寄稿いただき感謝申し上げます。

北海道医師会会員数は、男性7,379名・女性1,013名の合計8,392名（12月13日現在)。そのうち子年生まれの会員は別表のとおりです。

◇情報広報部◇

（名）

	男性	女性	合計
36歳	32	4	36
48歳	134	33	167
60歳	255	17	272
72歳	154	10	164
84歳	50	2	52
96歳	8	1	9
合計	633	67	700